令和２年度　奥州市立前沢中学校　地域版学校便り　令和２年１２月１０日（木）発行

＜学校ホームページ QR コード＞

前中だより

ホームページにて日常の情報、“県新人体育大会”の結果等もご覧いただけます。

通いたい学校　通わせたい学校　勤めたい学校へ

学校（0197）56-3005（代）

“艱難（かんなん）”を乗り越え、前中祭開催

艱難（かんなん）とは…困難にあって苦しみ、なやむこと。つらいこと。

１０月２５日（日）、令和２年度前中文化祭（前中祭）が開催されました。今年度の前中祭のテーマは「前心（ぜんしん）」。これからも訪れるであろう様々な艱難を、全校生徒で乗り越えて前進していこうという強い思いが込められています。前中祭当日は、PTA 役員の方々の協力による受付時の検温の徹底、観覧者は原則各家庭２名まで、合唱発表会の合間の体育館の換気の徹底、合唱発表会での生徒の透明マスク着用等、感染症対策を可能な限りに講じ開催しました。ステージ発表部門は、魂のこもった前中太鼓の演奏で幕を開け、菊池さんの弁論「命の重さ」、続いて吹奏楽部による演奏発表が行われました。工夫を凝らしたパフォーマンスもあり、自然と拍手や手拍子も起こり、会場は盛り上がりました。

そして、各学級が力を入れた合唱の発表。今年度はコロナ禍の影響を鑑み、コンクール形式ではなく、各学級１曲の合唱発表会の形で行われました。どの学級も、心を一つにこれまで練習してきた成果を十分に発揮していました。特に、３年生は声量もハーモニーにおいても圧巻の合唱でした。競い合わずとも聴く人々に勇気と感動を与えた合唱発表は、前中生としての成長が大きく感じられたシーンとなりました。

オープニングを飾った前中太鼓

皆の心を楽しませた吹奏楽部の演奏♪

３年生の学級合唱、圧巻でした！！

展示部門では、力作ぞろいの「文化部展示」、「学級展示」では、生徒一人ひとりの創造性にあふれた作品が展示され、見る人の心を魅了していました。

力作ぞろいの美術部展示

創意工夫の個人作品（学級展示）

三陸の魅力をとっておきの１枚に

～学習旅行フォトコンテスト開催～

最優秀賞１組５班
「何杯でもイケる」

最優秀賞１組１班
「心弾む宮古湾」

前中祭の一環として、「学習旅行フォトコンテスト」を実施しました。この企画は、９月に行われた３年生の２泊３日の三陸地域への学習旅行において、生徒たちが班単位で撮影した三陸の魅力あふれる写真を生徒や本校教員、保護者がじっくり見比べながら投票を行うというものです。来場した方々は、三陸の魅力を表せているか、その場所に行きたいと感じさせているか、心を揺さぶる写真かなどの基準を踏まえて投票を行いました。３９８票の投票の結果、最優秀賞は同数で２作品が受賞しました。学習旅行実行委員会の学習係長を務め、企画運営に関わった小野寺寧さんは、「写真として比べることで、自分の班が行かなかった場所の思い出を共有できる。すてきな企画になったと思う。」と振り返っていました。

家庭で使用できる！！一人ひとりの学習に適した支援ツール
「e ライブラリー」を導入！！

コロナ禍における学習支援ツールとして、PTA 会計で補正予算を組み「e ライブラリー」を導入しました。「e ライブラリー」は、授業支援、家庭学習支援、リモート学習等に活用できるツールです。個人の ID とパスワードを入力すれば、家庭でもパソコン、タブレット、スマートフォンでも使用できるものです。早速各学年で使い方についての説明を行いました。コロナ禍においても有効な学習支援ツールです。効果的に活用し、さらなる学力向上に努めていきたいです。

◎「e ライブラリー」の活用方法について（本校研究部の資料から）

〇授業の復習として
授業の最後に類似問題を解き、学習の定着を図ります。

〇家庭学習として
指定の教科または自由学習を教師側が指示を出し、取り組みます。

※インターネットの環境が整っていない家庭の生徒には、休憩時間など学校のパソコンやタブレットを使用できるようにしたり、同じものを配布します。

〇高校入試対策として
高校入試に出題された過去の問題を活用することができます。家庭でも利用できます。また、放課後や冬休みなど、パソコン室を利用できるように、体制を整えます。

〇テスト対策として
テスト前に、評価問題に取り組んだり、類似問題を解くことで定着を図ります。また、取り組んだ問題からテストに出題し、点数アップにつなげます。

昼休みにタブレットを使用し、自主学習をしている様子です。生徒からは、「家で自分の好きな時間に取り組める。」「テスト前は評価問題をくり返し行い、点数アップにつなげることができた。」「英語のリスニングがとても良かった。」等、好評です。

県新人大会　ソフトボール部２連覇、バド男子団体第２位
石川（柔道）、白田（バド男子）県を制す

県新人大会が１０月から１１月にかけて県内各地で開催されました。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で県中総体が開催されず、久しぶりの県大会開催となりました。出場した選手は、感染症対策を十分とりながら、前中、胆江地区の代表として全力でプレーをしました。結果については、右記の通りです。

◎県新人大会の結果

○団体戦

【ソフトボール】
準々決勝　対　福　岡　１７－０（３回コールド）
準決勝　　対　藤沢・川崎・一関一付・東山・花泉　３－２
決　勝　　対　大　東　４－３　第１位（２年連続７回目）

【野　球】
１回戦　　対　磐井　１－３

【バドミントン男子団体】
１回戦　　対　大槌学園　２－０
準々決勝　対　千　厩　２－１
準決勝　　対　石鳥谷　２－０
決　勝　　対　衣　川　１－２　第２位

【剣道男子団体】
１回戦　　対　遠野東　２－１
準々決勝 対　福　岡　１－４　（ベスト８）

○個人戦　*※個人戦は準決勝からの結果です。*

【バドミントン個人戦】
準決勝　白田（前沢）　対　鈴木（滝沢二）２－１
決　勝　白田（前沢）　対　大矢（飯岡）　２－０　第１位

【柔道９０ｋｇ級】
準決勝　石川（前沢）　体落とし　吉家（磐井）
決　勝　石川（前沢）　合わせ技　栃沢（仙北）　第１位

「前沢中学校体育・文化活動基金」でソプラノサックスを購入

昨年度、地域の皆様から支援を頂いた「前沢中学校体育・文化活動基金」を活用し、今年度は吹奏楽部で使用する「ソプラノサックス」を購入させて頂きました。大切に使わせて頂きます。

「前中だより６月２５日号」でお知らせしました上野原１区様に続き、「前沢中学校体育・文化活動基金」として、古城地区振興会様から１２８，０００円、白鳥５区様から１２，０００円の支援金を頂きました。心より感謝申し上げます。

白鳥５区様からの贈呈の様子

この度は地域の皆様のおかげで、ソプラノサックスを購入することができました。また、コロナ禍で大変な中、毎日頑張って部活動を続けることができたのも皆様のおかげです。

これからも応援される部活動をめざして、日々頑張っていきます。本当にありがとうございました。

吹奏楽部一同

本物に触れる！！～学校支援ボランティア事業～

今年度前沢中学校では、学校支援ボランティアを積極的に受け入れています。７月に前沢学校支援地域本部のボランティア募集のチラシで「技術の木工授業の補助」、「中国語アシスタント」、「窓ふき作業」を募集しました。早速地域の方々から「中国語アシスタント」３名、「技術の木工授業の補助」４名、「窓ふき作業」１名の申し込みを頂きました。写真は１１月からスタートした１年生の技術の木工授業の様子です。木工専門のボランティアの方々に、けがきの仕方やのこぎり引きの補助をして頂き、生徒たちも意欲的に作業に取り組んでいます。分からないことや疑問点があると、質問するなど積極的に学習に取り組んでいます。ボランティアの方々からも、「楽しかった」との感想が聞かれました。生徒や学校のために力を貸して頂いた地域の方々、ありがとうございます

実りの秋 収穫したお米をまえさわ苑へ届けました！！

１２月３日（木）、本校２年生が農業体験実習で栽培したお米を「まえさわ苑」に届けました。これまで「まえさわ苑」とは、合唱を披露したり吹奏楽の演奏を披露したりと交流を行ってきました。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で交流を自粛していました。２年生の代表でお米を届けた中村晴さんは、贈呈式の中で「技術の時間に農家さんやJAさんの力をかりながら育てたお米です。給食で１度食べてみてもおいしいお米でした。まえさわ苑のみなさんにも食べて頂きたいと思います。」と贈呈の言葉を述べ、施設長様からは、「毎年おいしいお米を頂いてありがとうございます。今年度はコロナウイルスの影響でなかなか交流ができない状況ですが、終息した際にはぜひまた来て頂きたい。」という言葉を頂きました。

資源回収への御協力ありがとうございました！！

今年度の資源回収を１０月２６日～３１日の６日間の日程で行いました。今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、志和商店様に御協力頂き、一カ所に集めるこれまでの回収方法を見直し、一週間の回収期間を設けて各家庭や地域の方々が直接志和商店様に搬入するという方法をとりました。収益金は右記の通りとなります。昨年度と比べると、４分の１の収益とはなりましたが、自主搬入というわずか６日間で予想を上回る収益となりました。この結果を参考に、今後の回収方法についても育成部を中心に検討していきたいと思います。御協力頂いた皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

【収益金】 ３０，６１９円

（昨年度　１３５，９６７円）

【内訳】ペットボトル類　１９円

アルミ缶、段ボール、

新聞紙、雑誌等　３０，６００円

◎地域の皆様、２学期もありがとうございました。

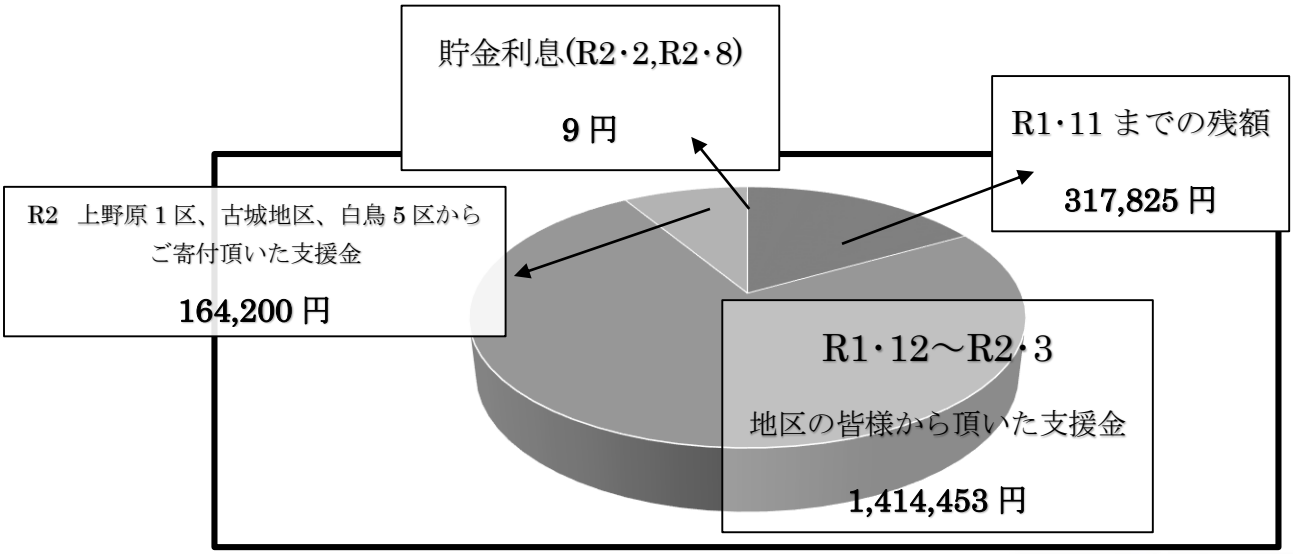
コロナ禍の中、来校された際はマスクの着用、手指消毒等、新型コロナウイルス感染症対策へのご協力ありがとうございました。「前中だより」やホームページ等を活用し学校情報の発信に努めて参りました。今後も「地域の声」を大事にした安全・安心につながる学校運営を行ってまいります。３学期もよろしくお願い致します。

地域に支えられ、地域と共に成長し、
地域に元気と笑顔を届ける「地域の学校」を目指して！

令和2年度　前沢中学校
体育・文化活動支援基金
報　告

◎会計報告　令和元年 12 月～令和２年 12 月

【収入の部】 1,896,487 円



頂いた支援金は、前沢中学校の生徒の活動に役立っています。
「前沢中学校体育・文化活動支援基金」は、全国大会等の派遣費として積み立てられ全国大会出場時に交通費等の補助に活用されています。また文化活動支援として古くなった楽器等の更新購入に活用させていただいています。

【支出の部】 396,000 円

□体育活動　…　０円

※新型コロナウイルス感染症に関わり、中体連の全国大会が中止となりました。

□文化活動　…　396,000 円

内訳）　ソプラノサックス　１台購入

【収支の部】 1,500,487 円

収入　1,896,487 円　－　支出　396,000 円　＝　残金　1,500,487 円

※残金は、次年度以降の前沢中学校体育・文化活動支援基金とさせていただきます。

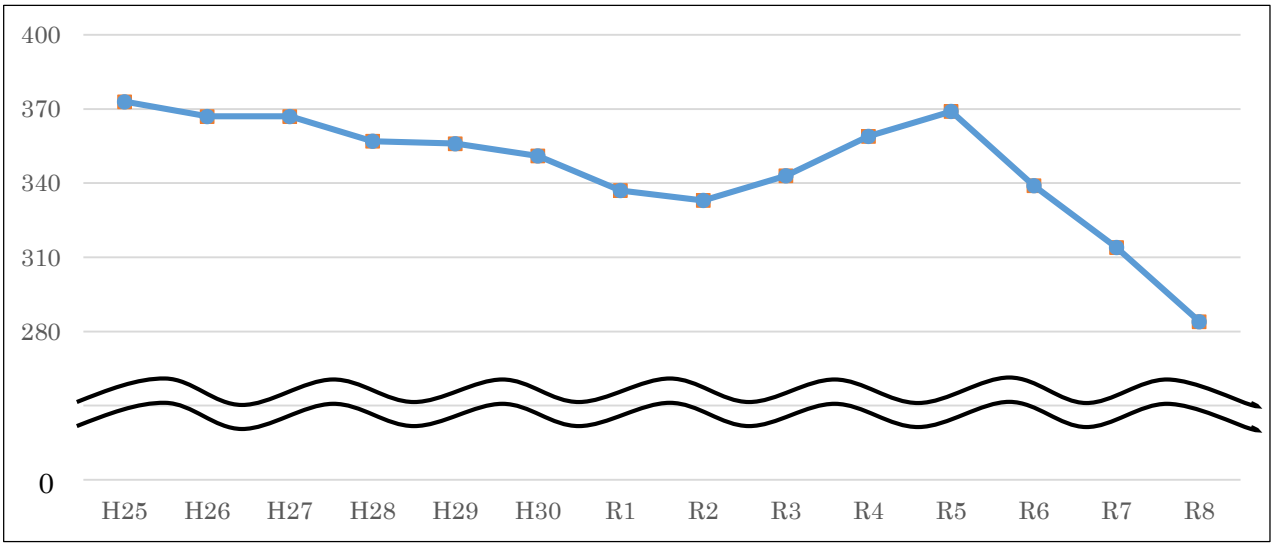
前沢中学校体育・文化活動
支援基金取組の経緯

令和元年８月全国中学校ソフトボール大会(中体連主催)に、東北大会を勝ち抜いた本校ソフトボール部が出場を果たしました。出場するにあたって、大会参加費として、２百万円以上支出がありました。大会終了後､県中体連から補助金として半額程度は補填されましたが､百万円以上は本校からの支出金となりました。過去の残金やソフトボール部の自己負担で遣り繰りすることができましたが、令和２年度以降のストックが尽きてしまいました。

このような状況において、臨時ＰＴＡ総会を開催して全家庭からの臨時集金や支出項目の見直し、削減等の自助努力も行いましたが、今後の生徒数の減少を鑑みつつ前沢の『地域の学校』として、地域の皆様方からご支援いただくことで、これまで同様の生徒たちの活動を維持できるのではないかと考え、支援基金設立に取り組んだところです。

そして昨年度、令和元年 12 月から令和２年２月にかけて、本校ＰＴＡ会員がそれぞれの居住地域において支援金のお願いに回らせていただき、地域の皆様方から表面に掲載しているような多大なる支援金を頂戴することができました。本校ＰＴＡ会員、生徒、教職員一同、心から感謝しております。

今年度はコロナ禍で各種大会が中止され、全国大会出場が有望視されていた種目もその活躍が日の目を見ることができませんでしたが、今後の体育面のみならず文化面での生徒たちの活躍を期待していただくこととともに、地域の皆様方には継続的なご支援を頂戴したく、関係各位の皆様方にご相談をしているところです。ご協力をお願いするに至りました場合は、何卒よろしくお願いいたします。

※今年度も上野原１区、古城地区、白鳥５区の皆様方には、特段のご配慮により支援金を頂戴しております。重ねて御礼申し上げます。

参考資料　本校の生徒数変遷について